

物忘れスクリーニング検査

(脳ドックオプション)

「物忘れスクリーニング検査」でアルツハイマー型認知症を早期発見！！



このような症状はありませんか？

- 同じことを言ったり聞いたりする。
- 物の名前が出てこなくなった。
- おき忘れやしまい忘れが増えた。
- 以前はあった関心や興味が失われた。

近年、高齢化社会の進行とともに物忘れ、認知症の方が次第に増えてきています。このような中、物忘れ、認知症にどう対処していけば良いかが、個人的にも家族的にも、社会的にも、大きな関心事になっています。

当院では、脳ドックのオプションとして「物忘れスクリーニング検査」を実施しています。アルツハイマー型認知症では脳の萎縮が早い時期に起こることが知られています。MRIを用いたVSRAD（ブイエスラド）という検査では、早期アルツハイマー型認知症に特徴的にみられる内側側頭部（海馬・扁桃・嗅内野の大部分）がどの程度萎縮しているかを色と数値で確認することができます。このVSRAD検査と合わせて臨床症状・高次脳機能検査（かなひろいテスト）・認知機能検査（MMSE）を行い、物忘れが年齢にともなうものなのか、それとも対処・治療を必要とする認知症なのかを総合的に判断します。

【検査内容】

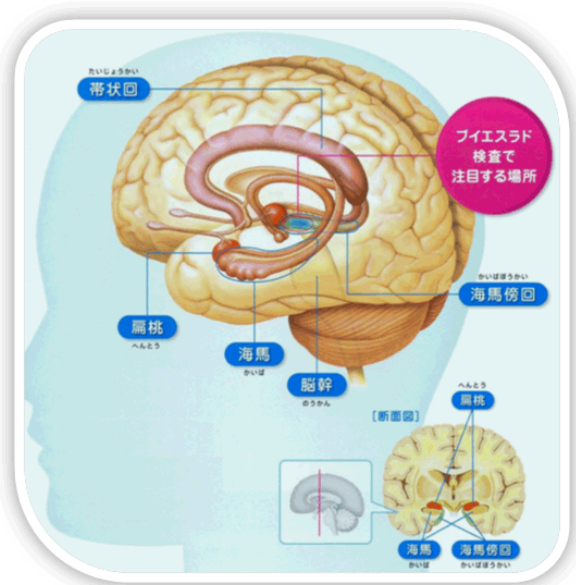
- ① VSRAD
- ② かなひろいテスト
(高次脳機能検査)
- ③ MMSE
(認知機能検査)

【対象年齢】

50歳以上の方

【検査料金】

5,400円(税込)



【お申し込み・お問い合わせ】

富山県済生会高岡病院 ドック・健診センター

TEL 代表 (0766) 21-0570 直通 (0766) 21-3437

なお、お電話は開院日（月～金曜日、祝日除く）の午後1時～4時までの間をお願いいたします。